

令和8年3月11日

戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書（行政提案、市民提案事業補助）

（宛先）

戸田市長

団体名 戸田市まちづくり応援団
 代表者職・氏名 代表 横山 誠
 所在地 XXXXXXXXXX

補助種別	<input checked="" type="checkbox"/> 行政提案事業補助（テーマ名：やさしい日本語の活用事業） <input type="checkbox"/> 市民提案事業補助	
事業名	やさしい日本語交流事業(Meetup)	
新規・継続	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 継続（ 年目）
実施期間	令和7年4月1日～令和8年2月27日	
関係部署名	※報告書の内容について、事前に関係部署に確認してください。 協働推進課	

1 事業の具体的内容及び成果

<p>■パンフレットの作成・印刷</p> <p>【計画】 活動（やさしい日本語講座、日本語自習室等）を紹介するパンフレットの作成。 仕様 カラー両面（A4 三つ折り） 印刷枚数 1000 枚 完成7月初旬を予定。 希望配架は協働推進課をはじめ、市役所、市内各施設、商工会を通じ各企業。</p> <p>【実施内容】 上記の計画に基づき、6/12 より実むすびデザインとの打ち合わせを開始。十数回の打ち合わせの後、カラー両面の A4 三つ折りパンフレット（通称：リフレット）を 1000 部印刷。9/7 に納品。その後、協働推進課の協力のもと、市役所や市内各施設への配架を行い、同時にやさしい日本語交流会、ランチ Meetup、TOMATO、多文化共生市民会議など様々な機会を通して配布案内。</p> <p>【成果】 今回のパンフレットは日本人市民への活動紹介が主たる目的であったが、デザインも良く、大変好評であった。パンフレットを見た日本人市民が活動に参加され、友人・知人へと参加の輪が広げられた。また QR コードを掲載したことで、常</p>

に最新情報を発信し、交流会等の参加申し込みや外国人市民のお困りごと相談にも即座に対応する事が出来た。但し、今回の仕様は対象を日本人としたために、外国人市民が手に取って、内容を理解するためには、外国人向けパンフレットの作成が求められる。

■「やさしい日本語交流会 Meetup」の開催

第1回「やさしい日本語交流会 Meetup」

日時:令和7年 11月 1日(土) 13:00-15:00

会場:あいパル多目的室 3、4

参加者:18名

【内容】

I部 言語別講座「チャレンジ」 (時間:50分間)

- やさしい日本語講座 講師:千原もも子さん 参加者 3名

「やさしい日本語ワークブック」を使用

※千原もも子さんは当団体所属の日本語教師。

- やさしい英語講座 講師:エイドリアンさん 参加者 6名

「やさしい英語」ワークブックを使用

※エイドリアンさんは昨年から交流会に参加しているフィリピン人。

II部 交流会 Meetup (時間:10分間の休憩後 60分間)

参加者:18名

ベトナム人 2名、中国人 1名、ブラジル人 1名、韓国人 2名

フィリピン人 3名 日本人 9名

- ① 挨拶、Meetupの目的の共有
- ② テーブルごとに自己紹介(アイスブレイク)
- ③ 自分たちの国や習慣・食文化などの紹介。推しの店(美味しいお店)の紹介。日本での生活で戸惑ったことなど。
- ④ Google フォームでアンケート
- ⑤ 「やさしい日本語缶バッジ」のプレゼント(日本人用・外国人用)
- ⑥ Line グループの案内(次回お知らせと埼玉県国際課からの情報発信のため)、パンフレット等の配布。
- ⑦ 戸田市国際交流協会、埼玉県からの在日外国人に対するお知らせ

【参加者の声】

■今回、初めて知ったことはありますか?

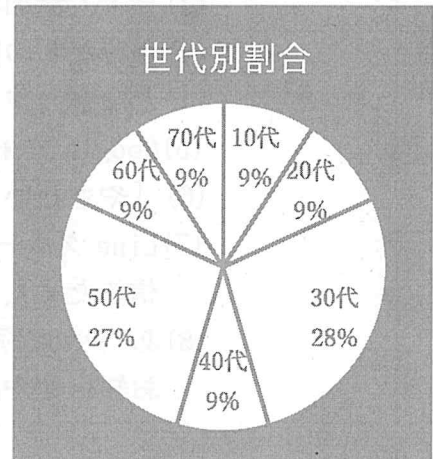
・子供の小学校選ぶについて(原文通り) ・カフェ情報、電車の遅延証明書を受け取るのが難しいことが話題になりました ・デジタルで発行できることを共有できました ・韓国には押しボタン式信号がないということ ・ベトナムやフィリピンのくだものについて ・新しい言葉覚えた。「つめほうだい」と「かけ放題」・Oburegodo はブラジル語でありがとう!

■今日の交流会はどうでしたか? 何でも書いてください。

・来て良かった!・いい勉強になりました。新しい友達もできました。・とても楽しかったです。英語もとても勉強になりました。エイドリアンさんのテキストが良かったです。・はじめての参加者が来てくださり、楽しかったです。・面白い ・とても楽しくて、清瀬市でもやってみたいです・楽しい会でした。

【事業の成果】

2025 年度、最初はやさしい日本語交流会の開催となったが、当初予定していたあいぱる多目的室 4、5 が取れず、時期も遅れ多目的室 3、4 での開催となった。毎回集客の難しさを感じるが、補助金対象事業という事でチラシの行政施設への配架、戸田市の SNS での告知が行われ、新しい参加者も見られた。右記のグラフを見ると 20-30 代と 50-60 代の参加者が多いことがわかる。これは、外国人参加者は 20-30 代の若者が多く、日本人参加者は 50-60 代の参加者が多いためである。ここ数年、この傾向は変わらず、語学留学、大学進学を目指す外国人青年たちが交流会に参加してくれている。一方、地域課題に関心を持つ 50 代から 60 代の日本人住民がボランティア意識をもって参加してくれている。



今回はやさしい日本語講座と並行してやさしい英語講座を行った。講師は、これまで継続的に交流会に参加しているエイドリアンさん(フィリピン人)で、初めての経験であったそうだが、参加者にも評判がよく、本人にとっても良い経験となったようである。その後行われた交流会には 5 ヶ国の外国人市民が参加され、テーブル毎にとっても賑やかに、笑いの絶えない交流会となった。アンケートを見てもわかるように、こうした出会いを繰り返しながら、互いの違いを知る機会となり、その違いは差別の理由ではなく、互いを理解し合うためのかけがえのないきっかけとなる事が出来れば幸いである。

第 2 回「やさしい日本語交流会 Meetup」

日時:令和 8 年 1 月 17 日(土) 9:30-11:30

会場:あいぱる多目的室 4、5

参加者:24 名

【内容】

I 部 言語別講座「チャレンジ」 (時間:50 分間)

●やさしい日本語講座 講師:千原もも子さん 参加者 5 名

「やさしい日本語ワークブック」を使用

●やさしい韓国語講座 講師: [] さん 参加者 9 名

「やさしい韓国語講座レジメ」を使用

※ [] さんは当団体会員の知人

II部 交流会 Meetup (時間:10分の休憩後 60分間)

参加者:24名

中国人 2名、韓国人 2名、デンマーク人 1名、カナダ人 1名、

日本人 18名(デンマーク在住の日本人が1名。初参加者 8名)

- (1)挨拶、Meetupの目的の共有、諸注意(相手へのリスペクト)
- (2)テーブルごとに自己紹介(アイスブレイク)
- (3)日本人参加者に対して「やさしい日本語」の大切な点を紹介。
- (4)自分たちの国や習慣・食文化などの紹介。日本の生活で戸惑ったことなど。フリートーキング。
- (5)Google フォームでアンケート
- (6)「やさしい日本語缶バッジ」のプレゼント(日本人用・外国人用)
- (7)Line グループの案内(次回お知らせと埼玉県国際課からの情報発信のため)、パンフレット等の配布。
- (8)あいパル、戸田市国際交流協会、埼玉県からの在日外国人に関するお知らせや地域団体のもちつき大会の案内

【参加者の声】

■今回、初めて知ったことはありますか？

・異文化について知れた・日本語教師を目指している方々とのお話がとても興味深かったです・炎上は悪い意味があること。戸田市の多文化共生活動 ・優しい日本語は思いが大事なことがよくわかりました！・韓国語の「お腹がすいた」の言い方

■今日の交流会はどうでしたか?何でも書いてください。

・とても楽しかった ・韓国語講座は少し難しかったです、親しみやすい言語だなと感じました ・楽しかった ・とてもよかったです ・新しい出会いがありました ・1/31 防災日本語に参加予定 ・新しい方と話できて良かったです! ・楽しいひと時を過ごすことができました

【事業の成果】

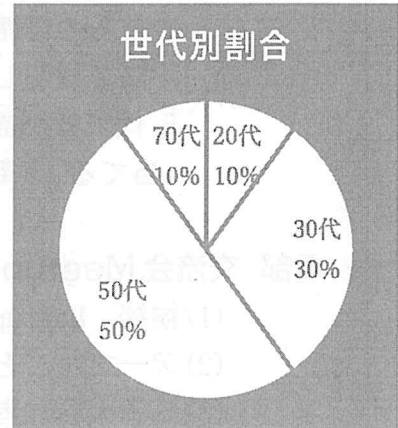
今回も協働推進課経由で市内施設へチラシの配架と戸田市 SNS での情報発信を行い、TOMATO や戸田公園ガイド、戸田市まちづくり応援団の HP や FB、インスタ、やさしい日本語 Line グループを通して開催告知を行った。前回と情報発信の方法自体は変わらないが、日本人の参加が前回の 2 倍となり、初参加者は 8 名であった。土曜日の午後よりも午前中の方が、都合が付きやすいからなのか、今後の参考にしたい。年齢分布では半数が 50 代、30 代、20 代と

続く。前回同様、日本人参加者は 50 代以上、外国人参加者は 20-30 代に変わりはない。日本人と日本語で交流をする集まりは、若者にとってはさぼと敷居が高くないようである。

第 I 部は「やさしい日本語講座」と「やさしい韓国語講座」の二本立で行ったが、「やさしい韓国語講座」に 9 名の参加があった。その中には中国人もおり、言語に対する関心が等しくある事を確認した。

やさしい日本語講座については、前回 3 人、今回 5 人で、関心が大きいとは言い難い現実がある。昨年同様、多文化共生を意識する日本人市民が少ないのか、情報発信に問題があるのか、開催の日程に問題があるのか、引き続き原因の検証を行い、改善策を模索していきたい。

アンケートを見てもわかるように、参加者は一様に「楽しかった」「よかった」とコメントしている。交流会には新しい出会いがあり、異文化との出会いがある。仮に一期一会となったとしても、交流の経験が、互いへの尊敬につながる機会を継続していきたい。



第 3 回「やさしい日本語交流会 Meetup」

日時:令和 8 年 2 月 23 日(月・祭) 13:30-15:30

会場:あいパル多目的室 1、2

参加者:15 名

【内 容】

I 部 「やさしい日本語講座」と「ことばの交流タイム」 (時間:50 分間)

●やさしい日本語講座 講師:千原もも子さん 参加者 0 名/申し込み 1 名

「やさしい日本語ワークブック」を使用

●ことばの交流タイム 司会:横山 誠さん 参加者 15 名

目 的:自分の母語を紹介し合い、学び合う

参加者:15 名

中国人 3 名、韓国人 1 名、メキシコ人 1 名、モロッコ人 1 名、

日本人 9 名

初参加(外国人 4 名、日本人 2 名)

内容:

1. テーブル毎(4 テーブル)の自己紹介
2. 簡単なゲームでアイスブレイク
3. 自分の母語で「私は●●です」と自己紹介し、●●に自分の名前を入れて中国語や韓国語、スペイン語でその言い方を覚える。
4. 自分の母語で「私は●●が好きです」と自己紹介。その理由を日本語で説明し、皆からの質問に日本語で応える。
5. 代表者が提示された写真の絵をホワイトボードに書き、それを皆が当てる。(馬、鶏、大谷翔平 etc)

Ⅱ部 交流会 Meetup (時間:70 分間)

- (1) 挨拶、Meetup の目的の共有、諸注意(相手へのリスペクト)
- (2) テーブルごとに自己紹介(アイスブレイク)
- (3) 日本人参加者に対して「やさしい日本語」の大切な点を紹介。
- (4) テーブル毎に、イラストを見ながら、その場面での会話を考え、日本語で発表。・朝の挨拶 ・バレンタインデー ・夜の挨拶 ・道であった時 etc
- (5) Google フォームでアンケート
- (6) 「やさしい日本語缶バッジ」のプレゼント(日本人用・外国人用)
- (7) Line グループの案内と 3 月のランチ Meetup お知らせ、パンフレット等の配布。
- (8) 戸田市国際交流協会、埼玉県からの在日外国人に対するお知らせ

【参加者の声】

■今回、初めて知ったことはありますか?

- ・ マルとバツの表現が国によって違うこと・モロッコも暖かいところばかりではない。・×が通じない ・おはようございますについての話でした。
- ・ Oui sur la chine ・韓国の習慣、モロッコの天気など ・メキシコでアメリカは米国ではなくアメリカ全体(大陸)を呼ぶ言葉なのを知りました
- ・ あいさつについて ・人間は、90%同じですね、言葉は大体同じです。
- ・ 日本で通じるジェスチャーも、国が違っていると通じないこと。

■今日の交流会はどうでしたか? 何でも書いてください。

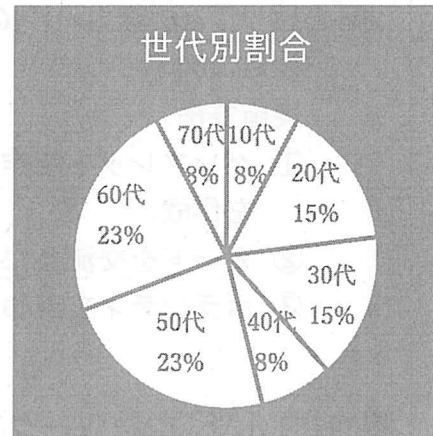
いろいろな国の人とたくさんお話ができました・楽しかった・今日は新しい方も来られて、色々な話が聞けました。・良いコミュニケーションがとれました。・素晴らしかった・楽しい時間でした!・楽しく参加できました・本当に嬉しいです・日本に住んでいる外国の方々は、日々頑張ってるんだなあと改めて思いました。

【事業の成果】

これまでは土曜日に開催していたが、今回は祝日の午後に開催した。集客数は

期待を下回ったが、初めて参加した方が6名(外国人4人、日本人2名)おり、祝日開催の手応えを少なからず感じた。

また参加者の年齢分布をみると、開催日に関わらず、外国人参加者は20-30代、日本人参加者は50-60代に集中し、この傾向は変わらない。今回はI部に予定されていた「やさしい外国語講座」の講師が見つからず、新企画「ことばの交流タイム」を実施したが、殊の外、盛り上がりを見せた。参加者同士が母語を紹介し、互いのことばを学び合う事で、参加者間の距離感が縮まったためである。これにより、第II部の「交流会 Meetup」ではとても良い雰囲気での交流できた。今後も、「ことばの交流タイム」を時々に行い、参加者が自分の母語を紹介する機会としたい。その一方で、「やさしい日本語講座」は参加者がおらず(但し、参加希望者は1名)、実施する事が出来なかった。今日現在(3/1)、戸田市に住む外国人数は9,761人、総人口の6.8%である。全国平均(3.2%)を遥に凌ぐ割合である。今後もその傾向が続くとしたら、日本人市民への「やさしい日本語(伝わりやすい)の啓発は必要不可欠なものである。2026年度も、今年度の結果を踏まえつつ、積極的に取り組んでいきたいと考えている。



■日本語自習室「いっぽいっぽ」

【当初計画】

開催予定日: 毎月第3週の土曜日に開催されている「ランチ Meetup」の後
会場: ランチ Meetup 開催会場(あいパル他)
時間: 14:00-16:00
内容: 日本語学習の自習(復習・予習)/お困りごと相談など

【事業の成果】

今年度、上記のような【当初計画】を提案させて頂いたが、以下の理由により、実施を見送った。

- ① 会場の確保が困難であった。
- ② 交流会等に参加している在日外国人にはニーズがなかった。
- ③ 多くの場合、午後の時間はアルバイトに用いるため、こちら都合の時間帯で自習が出来る外国人がいなかった。

但し、「お困りごと相談」については、会場がなくても実施可能と判断し、下記【実施内容】にある通り、「お困りごと相談カード」を300枚作成し、交流会参加者や市内で出会う外国人等に配布し、QRコードからお困りごと相談メールが送れるような仕組みを作った。これまでに1件、病院でのお困りごと相談を受け付け、感謝のメールが届いた。継続的にカードを印刷し、配布する必要があると

考えている。

【実施内容】

■「お困りごと相談カード」の作成と印刷

枚数:300枚

実施方法

- ① パンフレット制作の委託業者と打合せ、数回の打ち合わせの後、カードを作成。
- ② カードを交流会に参加した外国人や市内で会う外国人に配布した。
- ③ ボランティアが知り合いの外国人たちに配布した。

■やさしい日本語ワークブックの作成・印刷

【実施内容】

やさしい日本語講座で使用する教材の作成(戸田仕様)

仕様:B5 カラー 38 ページ

完成:2月21日 部数:100部

内容:1.日本語を学ぶ外国人 2.外国人の日本語力 3.やさしい日本語とその必要性 4.学ぼう、やさしい日本語【話し言葉編】 5.学ぼう、やさしい日本語【書き言葉編】 6.実践、やさしい日本語 7.答え参考例、参考文献、おわりに

【事業の成果】

本ワークブックは、これまで「やさしい日本語交流会」の「やさしい日本語講座」で使用してきたテキストをまとめ、さらに補足を加えて補強したものである。本ワークブックは、日本人市民を対象にしたテキストで、やさしい日本語の起源や日本語を用いて会話をすることの意義や意味、必要性を説明し、在日外国人が増加し、他市に比べ外国人と関わる事が多い戸田市民には必須のワークブックとなったと自負している。後半は、話し言葉、書き言葉のポイントが示され、「実践、やさしい日本語」では、例題をもとに言い換えたり、書き換えたりしながら、ひとりでも、複数でも取り組むことが出来るような仕様になっている。今後は「やさしい日本語講座」において使用していく事になるが、町会や学校、市内企業でも十分利用できる戸田市版やさしい日本語ワークブックとして利用が出来ると考えている。

ことばは時代と共に変化する事から、将来的な改定を視野に入れながら、その準備も継続していきたい。

2 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
補助金交付決定後	
パンフレットの作成 6月中旬～8月末	パンフレットの打ち合わせ、作成・印刷
やさしい日本語交流会 10月初旬～10月末	Meetup 準備(チラシ、外国語講師とテーブル交流のテーマ等)
11月1日	第1回やさしい日本語交流会 Meetup 開催
11月中旬～12月中旬	Meetup 準備(チラシ、外国語講師とテーブル交流のテーマ等)
1月17日	第2回やさしい日本語交流会 Meetup 開催
1月中旬～2月初旬	Meetup 準備(チラシ、ことばの交流タイム、テーブル交流のテーマ等)
2月23日	第3回やさしい日本語交流会 Meetup 開催
お困りごと相談カード 8-9月	打合せ、カードの製作と印刷
ワークブックの作成 8-10月	第1稿完成
11月1日	第1回やさしい日本語講座で使用し、修正する。
11-1月	第2稿完成
1月17日	第2回やさしい日本語講座で使用し、修正する
1-2月	第3稿完成(完成版)
2月23日	第3回やさしい日本語講座で使用、印刷、製本

3 事業の実施体制

■パンフレットの作成・印刷

委託業者との打ち合わせを重ねながら、デザインの修正や内容に関する意見をボランティアに確認しながら実施。

■「やさしい日本語交流会 Meetup」の開催

毎月のランチ Meetup に参加しているボランティアの中からコアメンバ(5名)を立て、line グループを利用しながら、3回のやさしい日本語交流会の計画を立案、運営、実施した。当日の会場設営、撤収は当日の参加者(外国人、日本人)が行った。

■日本語自習室「いっぱいぽ」

団体所属の日本語教師を中心に計画立案をした。しかし前述した要因により、実施を見送り、お困りごと相談のみ、カードを製作し実施した。カードの作成・印刷は、パンフレ

ットを製作した業者に依頼した。

完成したお困りごと相談カードは、やさしい日本語交流会やランチ Meetup に参加したボランティアが市内在住の外国人に手渡した。

■やさしい日本語ワークブックの作成・印刷

やさしい日本語講座を担当している日本語教師が編集責任者となり、イラスト作成や構成を業者に委託した。製作過程でコアメンバーに確認を取りながら最終稿を仕上げ、印刷・製本・納品となった。

4 反省点と課題

■パンフレットの作成・印刷

反省点は特にないが、制作の段階で日本人と外国人の両方をひとつのパンフレットで対応する事の難しさを感じた。今回は日本人を対象にしたパンフレット(もちろん日本語を学び始めた外国人市民にも読めるようには製作したつもりだが・・・)とならざるを得なかったので、次回、外国人に特化したパンフレットの製作に取り組みたい。

■「やさしい日本語交流会 Meetup」の開催

反省点 集客が十分ではなかった。日本人市民には市内施設への配架や戸田市の SNS での発信、市内業者による SNS 発信は一定の効果がある。だが外国人市民への周知という点では十分ではなかった。

課題 町会や日本語学校、市内企業との協力が不可欠である。これらの各関係団体との協働には、一ボランティア市民団体としても限界がある。行政、議会の後押しを期待したい。

■日本語自習室「いっぽいっぽ」

反省点 当初の計画と在日外国人(特に、日本語学校に通う外国人)との間にニーズの食い違いがあった。

課題 お困りごと相談カードを作成し、お困りごと相談の一次窓口となっている以上、問題解決のためには関係団体との協力が不可欠である。今後、様々な団体との協力関係を築いていきたい。

■やさしい日本語ワークブックの作成・印刷

反省点 ワークブックを一つの形としてまとめることはできたが、その後、地域の中でどのように活用し、どのように広げていくかという具体的な道筋まで十分に整理できなかった点は反省すべきである。形を整えることに注力する一方で、今後の運用や普及方法の検討が後手に回った。

課題 今後は、Meetup や講座に限定せず、地域のさまざまな場面(町会、企業、学校等)で自然に用いられるための具体的な活用モデルを描き、それを関係者間で共有していく必要がある。また、参加者の声を継続的に収集し、改訂や改善につながるフィードバックの仕組みを丁寧に構築していくことが求められる。

5 今後の事業の展望

■パンフレットの作成・印刷

外国人向けパンフレット(リフレット)の製作。

■「やさしい日本語交流会 Meetup」

1. やさしい日本語交流会の中で行われていた「やさしい日本語講座」を出張講座化する。そのような機会に「やさしい日本語ワークブック」を有効利用する。
2. 在日外国人への認知症啓発活動
3. 多文化共生スポーツ大会の開催
4. やさしい日本語による在日外国人の防災教室の開催

■日本語自習室「いっぽいっぽ」

1. お困りごと相談に関するパートナー(個人・団体)の発掘。
2. 外国人家庭の子どもたちへの教育支援や日本語教室。

■やさしい日本語ワークブックの作成・印刷

1. ワークブックの改定、増刷。
2. 応用編の製作、印刷。

今後は、このワークブックをやさしい日本語講座や Meetup で使いながら、実践の中で少しずつ育てていきたいと考えている。参加者の声や地域での気づきを取り入れ、戸田市の暮らしにより身近な内容へと磨き上げていく。また、町会や学校、企業などにも広がり、やさしい日本語が特別なものではなく、日常の中で自然に使われる言葉になることを目指したい。

6 役割分担

申請団体の担った役割	<ul style="list-style-type: none">・団体 HP、SNS 等より活動内容と情報を発信した。・「やさしい日本語交流会 Meetup」を開催した。・戸田市版「やさしい日本語ワークブック」を製作した。・お困りごと相談カードを製作、配布した。・ボランティアを募集した。
市の担った役割	<ul style="list-style-type: none">・パンフレット、やさしい日本語交流会、ランチ Meetup の配架と SNS の発信。
協働することで得られた相乗効果等	<ul style="list-style-type: none">・行政との協力により、当事業の信頼性と安心感が担保できた。・戸田市 SNS での配信により、広く市民に情報を届ける事が出来た。・市役所及び、関係施設でチラシを配架したことで、広く外国人市民に周知する事が出来た。・行政との協働の機会となった。

《収支報告書》

【収入】

(円)

科 目		予 算 額 ①	収 入 額 ②	比 較 (②-①)	内 訳
補助金・ 助成金	当補助金	478,370-	269,771	△208,599	
	その他				
自己資金					
会費 (参加費等)					
利用者負担金 (売上等)					
協賛金・寄附					
その他					
合 計		478,370-	269,771	△208,599	

【支出】

(円)

	科 目	予 算 額 ①	支 出 額 ②	不用額 (①-②)	内 訳
補 助 対 象 経 費	謝礼金	60,000-	8,000-	52,000-	やさしい英語講座(11/1)、やさしい韓国語講座(1/17) 謝礼金
	消耗品費	16,830-	15,248-	1,582-	事務用品、教材等
	食糧費	12,000-	13,380-	▲1,380-	10/30、10/31、1/16、2/19、2/20、2/27
	印刷製本費	27,130-	58,050-	▲30,920-	カラーコピー(ポスター、チラシ) ポスター 25枚×3回 @100 7,500- チラシ 100枚×3回 @40 12,000- ワークブック印刷 28,520- チラシ印刷 10,030-
	使用料	34,720-	15,420-	19,300-	11/1 多目的室4・5 使用料、 設備使用料 4,160- 1/17 多目的室4・5 使用料、 設備使用料 4,160- 2/23 多目的室1・2 使用料、 設備使用料 3,760- 2/7 和室 使用料 260- 駐車料(7/22、11/1) 600- ドメイン 2,480-
	委託費	327,690-	159,673-	175,930-	パンフレット(1000部) 41,600-

					チラシ修正 7,913-
					お困りカード 11,300-
					ワークブック製作 44,010-
					戸田公園ガイド 13,200-
					HP 管理運用 40,000-
					振込手数料 3件(550×3) 1,650-
	小 計	478,370-	269,771- ※	208,599-	※支出額内訳 補助金充当額 : 269,771 自主財源 : 0
補助対象外経費					
	小 計				
	合 計	478,370-	269,771-	208,599-	

